

とっとり 県議会だより

No.056

Feb.
2月
議会

〈県議会HP〉

県議会についての情報を掲載しています。



〈定例会中継〉

本会議や委員会の様子を生中継しています。



〈県議会公式X〉



〈県公式LINE〉



Contents

代表質問	2~3p
一般質問	4~7p
常任委員会活動	8p
議決結果	9~11p
特殊詐欺にご注意!	12p
お知らせ	12p



2月定例会の概要 (2月24日~3月25日)

開会日の2月24日に、平井知事から、総額3,960億円余の令和8年度鳥取県一般会計予算など72議案が提案されました。また3月12日に委員の選任など8議案が、18日に条例改正にかかる1議案が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党と民主ととりの2会派が行い、一般質問には23名の議員が登壇。当初予算の私立中学就学支援金の執行にあたり、支給額の見直しや令和9年度に向けて制度の検証を求める附帯意見が付されました。

議決の状況

【知事提出議案】

- ◎予算議案 <<可決・承認33件>> ◎条例議案 <<可決19件>>
- ◎人事議案 <<同意8件>> ◎その他議案 <<可決21件>>

【議員提出議案】

- ◎条例議案 <<可決1件>> ◎意見書 <<否決1件>>

【請願】 <<不採択1件>>

【陳情】 <<研究留保1件 趣旨採択1件 不採択1件>>

表紙の写真

とっとり花回廊 フラワー イルミネーション

とっとり花回廊では秋から冬にかけて、夜間のイルミネーションイベントを開催しています。

今年は11月中旬から1月中旬にかけて、『ディスカバリー～新たな魅力発見～』をテーマに、100万球のイルミネーションが園内各所を彩り、多くの来場客を楽しませました。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



地域未来戦略について

問 若者や女性にも選ばれ、安心して暮らし続けられる「持続可能な鳥取県」を実現すべき。高市政権の「地域未来戦略」を踏まえ、地方創生の実現に、どう取り組むか。

答 経済と人材、国全体の偏在是正の3点セットで考えることが重要。人材と地域をセットで高めていく取組に乗り出すような「鳥取県政のモデル」をつくっていくべきと考える。

更なる関係人口の拡大

問 移住よりも比較的ハードルの低い「関係人口」の増加を通じ、地域活性化と地方創生の実現につなげていくべき。これまでの取組を振り返り、今後どのように関係

人口増加に向けた施策強化に取り組むのか。

答 これまで鳥取県では、全国初となる「関係人口室」を設置。その他、東京本部、関西本部への「とっとり歓迎案内所ウエルカニ」の設置に加え、ワーケーションの取組も拡充してきた。また、日野町等で「ふるさと住民登録制度」に取り組まれており、県も「ふるさと来しOVE（クラブ）」ととり「プロジェクト」で応援するほか、若者をターゲットとする「若者版」の作成も考えている。

男女協働未来の創造

問 固定的な性別役割分担意識「アンコンシヤス・バイアス」の解消に向け、県民と直接語り合う「みんなで話彩や（はなさいや）」を開始。ここで得られた県民の貴重な声をどう分析し、今後どのように施策に反映させるか。

答 新年度、アンコンシヤス・バイアスの解消に向けた運動の輪を地域、企業に広げ、良い実践例を支援するなど弾みをつけたい。また、A-1に代替されかねない職業

は大都市に集中。経済産業省の試算によると、東京では女性の労働力も余ることが想定されている。地元へ帰る女性にとって、本心に居心地の良い地域にせねばならず、非常に大事な課題である。

防災力の向上

問 令和8年度の目玉イベントでもある「ぼうさいこくたい」の成功に向けた知事の意気込みを伺う。

答 中部地震発災から10年目に合わせ10月17日、18日に開催。一方で「防災庁」が11月に設置される公算が高い。このため、「ぼうさいこくたい」は防災庁設置に先立つイベントとなる可能性もあり「災害ゲースマネジメント」などの鳥取型の防災対策を全国にアピールしながら全国と交流を深め、防災のレベルを一層上げていく。

スポーツ振興と交流

問 1年2か月後に迫った「ワールドマスターズゲームズ」に向け、大会準備や本県への観光誘客などに、どのように取り組むか。

答 スタッフ等の確保のほか、多言語化対応として、外国の方からの相談を受けるキャンプ村のようなステーションを鳥取、倉吉、米子に設置するなど準備を進める。

問 陸上のジャマイカチームから、2027年の世界陸上北京大会に向けて、鳥取県で事前キャンプを実施したいとの意向を伺っている。世界トップレベルの選手を身近に感じられる貴重な機会。今度はどういう事前キャンプの受け入れ準備を進めていけるか。

答 ジャマイカ選手と子どもたちとの触れ合いは風物詩になり始めている。また、ジャマイカからスポーツ交流員をお迎えし、学校で陸上指導していただくという成果も出ている。ジャマイカ側も熱心であるため、県陸上競技協会とも協議しながら、受入れに向けた合意も整えて、準備を本格化させたい。

障がい福祉政策

問 本県の障がい者福祉政策の評価と課題について、また、今後どのように充実していくお考えか。

答 あいサポート運動は、日本国内から韓国にまで広がっているほか、手話言語条例も616団体で可決成立。全国に誇れる取組が出来てきている。お互い就任した頃は障がい者福祉行政の転換期だったが、当時、夢見ていたことが花開いている。「福祉の心」ということを一つのモットーとして掲げながら、今後も同じ方向性で取り組みを強めていく。

代表質問

鳥取県議会民主とっとり



第51回衆議院総選挙

問 真冬の総選挙について、地方六団体で総括をして、意見をまとめて国に訴えていく必要がある。我々なりの要請活動をする。

賃上げについて

問 春闘が本格化する中、企業規模間の賃上げ格差が拡大している。実効性のある支援策を求める。様々な需要に応じ対策する。

人権尊重社会の実現

問 昨年12月議会で人権条例が改正された。成果と課題を問う。
答 2件の相談があった。情プラ法(※1)の改善を国に申し上げる。

救急医療体制について

問 昨年7月以降、断続して連休

しているドクターヘリの復旧スケジュールは。また、東部地域にドクターカーを導入しては。

答 ドクターヘリは4月からの通年運航を目指す。ドクターカーは、今日の議論をスタートとする。

依存症対策について

問 アルコールで悩む当事者、御家族には断酒会につながって欲しい。依存症は多岐にわたり、子どものスマホやゲーム依存等の課題も出てきた。現状や対策を問う。
答 力強い依存症対策を展開する。

いのちの電話について

問 イギリスでは自死予防ホットラインが社会に根付いている。鳥取でどのように展開されていくか。
答 いのちの電話の米子市での開設について協議し、ご支援する。

検診受診率の向上

問 一日でも長く笑顔で家族と健康に過ごしていくために、がん検診や特定検診の受診率を上げていく必要があると考えるがどうか。
答 市町村や保険者とネットワー

クを組んで進めていく。

オンライン診療

問 二つの観点からオンライン診療を加速すべき①病児保育を活用する保護者②免許返納した中山間地域で慢性病の薬を貰うお年寄り。

答 イギリスでは34%が電話・オンライン診療。国の動向を注視しつつ、中山間地域をサポートする。

民謡文化について

問 貝殻節は鳥取県を代表し、全国的に人気の高い民謡だ。民謡文化の伝承の重要性について問う。
答 関係者とよくお話しをして、貝殻節を広めて育てていきたい。

農業について

問 農地中間管理機構の集積目標52%に対し現在約30%。農地の集積に加えて、基盤整備が必要だ。
答 次世代型の水田農業加速化支援事業を本議会に提案している。

A-1革命について

問 県庁内の生産性向上のために、A-1を如何に活用するか。
答 A-1ガイドラインを改定する。

鳥取駅前・護岸整備

問 鳥取駅前再整備に、県として一層関わるべきだ。小沢見海岸浸

食に、如何に市町村と連携するか。
答 駅前の多くが市の権限で、市がリードすべき。小沢見海岸は、土のうで処置をして一応安定した。

朝鑑賞・多様化学校

問 朝鑑賞を広めては。
答 (教育長) 管理職研修に組み込むことを、次年度以降検討する。
問 不登校は社会全体の課題という認識の下、公立学校への財政支援に加え、私立学校を応援すべき。

湖山池天空エリア

問 11月3日に少年自然の家跡地に整備された。東部の子どもたちは、如何に野外活動を学ぶか。
答 (教育長) 天空エリアも活用し、体験活動を充実していく。

問 約11億円かけた県民の財産として、地元の皆さんの声を承り、観光地として磨きあげるべきだ。
答 新しい名所として他のエリアと一体で観光地として育てていく。

外免切替え制度(※2)

問 以前1〜2週間で済んだものが数カ月必要だ。対策を問う。
答 (警察本部長) 効率的な外免切替えの審査を実施していく。

(※1) 情プラ法…情報流通プラットフォーム対処法。SNSや動画サイトなどでの誹謗中傷や権利侵害情報への対応を強化する法律。
(※2) 外免切替え制度…外国で取得した運転免許証を日本の運転免許証に切り替える制度。

一般質問

会派正式名称

〔自由民主党〕

鳥取県議会自由民主党

〔民主とっとり〕

鳥取県議会民主とっとり

〔公明党〕

公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（副知事および各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

2月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会

検索



前住 孝行 議員

選挙区 八頭郡
会派 無所属

①通信インフラ整備②
デジタル人材育成支援

問 ①人口減少下において、情報格差を生まない通信基盤の整備が地域存続の鍵を握ると考える。ついては、県内における5G及び光回線、6G参入を含む通信環境の整備状況と、今後の拡充整備に係る支援について伺う②企業のデジタル人材育成の支援は。

答 ①市町村と一緒にデジタルディバイドを扱うICT協議会の中に分科会をつくり、不感地帯をあぶり出し、企業側とも調整をするようになった②窓口を設けて伴走型で企業・団体の改善に協力し、いろいろな事業に展開している。

村上泰二郎 議員

選挙区 西伯郡
会派 民主とっとり

日本一の地震防災
感震ブレーカー普及

問 今回の予算案に私が強く申し上げてきた感震ブレーカーの全額の補助がある。市町村の協力を得て、リスクの高い地域へと集中的に多数の感震ブレーカーを設置する。これが地震火災予防の有効性を高める。特に簡易感震ブレーカーは大量発注でコストダウンの可能性がある。どのように進めるのか。

答 補助率だけでなく、上限額も引き上げた。基本戦略は全世帯、特に密集地域はみんなでつけようと進めてもらう。再通電の安全確認のやり方の工夫も考えよう。

前原 茂 議員

選挙区 米子市
会派 公明党

①共同親権
②コメ政策

問 ①4月から施行される共同親権について、県民への周知は十分なのか。

答 ①国作成のQ&A等のパンフレットを利用して周知に活用。県では専門家によるセミナーやフォーラムを実施。また、行政・関係機関向けの研修会など展開をしている。

問 ②今後の米価の動向と価格の適正化について伺う。

答 ②国は、食糧法を改正し、米価の監視を行う。米流通業者や中食、外食産業なども届出対象とする。それにより米の適正価格を探っていく戦略である。

語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

2巡目国スポに向け
総合優勝を目指すのか

問 昨年、わかとり国体以来の好成績を収めたが、当時の成績までには至っていない。競技力向上を目指す体制づくりを行い、鳥取県開催では総合優勝を目指しては。

答 国スポの今後の在り方が議論されている。まだ総合優勝を目指すかどうかを決めるタイミングではない。

問 わかとり国体で指導者として活躍された恩師から総合優勝を目指してほしいという思いを聞いたがどうか。

答 国スポとして仕組みが変わる。議会、各団体と協議しながら方向性を定めたい。

島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

障がい者移動支援と福祉政策へ知事の決意は

問 ストレッチャー対応の福祉タクシー不足が課題。維持費支援や連携強化など、実効性ある対策を講じるべき。

答 導入などの補助制度により台数は増加しているが不足は認識。事業者の運営コスト等の課題も踏まえ、制度拡充や関係者との連携を進める。

問 今後の県政運営における地域共生社会の実現に向けた福祉施策充実への決意は。

答 福祉の課題は、ダイナミックで個別対応できる福祉政策が求められるなど新たな局面に。孤独・孤立への対応など「鳥取モデル」を構築する。

山本 暁子 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

① AI倫理 ② 雨滝復興 ③ eスポーツ

問 ①AIの選択基準が開発の設計思想や倫理観に移り変わる時期。県としてどのような観点でAIを選択活用していく予定であるのか②雨滝の復興PRを③eスポーツのメリットと取組状況を調査し、施策の材料に。

答 ①倫理の問題を本気で議論し、真剣に考える必要がある。自治体デジタル倫理原則に基づき選択、活用する②地元の意向に沿って復興をしてきた。県としてもPRの協力をしたい③国スポ導入も社会情勢にマッチしている。関係自治体と振興を図っていく。

河上 定弘 議員 

選挙区 米子市
会派 自由民主党

**PFI事業（※1）
地域公共交通の維持**

問 長期にわたるPFI事業では、労務費、資材価格や金利の変動を適時・適切に反映する仕組みづくりが重要。建設・設計業界と行政の意見交換を定期的に行うべき。

答 話し合いの場を作り、どういう手法が本県や現場にとって相応しいか協議したい。

問 高齢化や運転手不足が深刻化する中、米子市の自動運転バスのレベル4（※2）実現に向け、県の積極的な関与と支援を期待するがどうか。

答 国の許認可や財政的支援など、米子市と相談し、実現に向け、協力していきたい。

東田 義博 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**用瀬流しびな保存継承
鳥取道の安全対策**

問 用瀬流しびなの国重要無形文化財指定に向けて、鳥取市が進める調査、報告書作成、文化庁との協議調整など伴走型の支援をお願いします。

答 県として、しっかりと応援する。

問 可変式電光表示板を活用した鳥取らしいご当地フレーズでの情報発信をしては。

答（警察本部長）地域性を入れたフレーズの導入を検討する。

問 鳥取道の危険なトンネルへのセンターブロック整備を国に要望してほしい。

答 強く国に迫っていく。

市谷 知子 議員 

選挙区 鳥取市
会派 無所属

ミサイル、産業、精神医療、原発、給食

問 ①美保基地C2輸送機ミサイル配備拒否を②産業集積の地域未来基金50億円に雇用拡大や賃上げルールを③精神2級の医療費助成④知事認めなければ島根原発プルサーマルしないと中電と約束あるか⑤県支援で小学校、中学校、特別支援学校給食完全無料に。

答 ①ミサイル配備の調査あった。基地の性格変更ないよう国要望する②考えてない③市町村の議論必要④安全協定の趣旨に則った協議求めている⑤（教育長）特別支援学校小学部は完全無償化する。中学部等は次年度以降に検討。

尾崎 薫 議員 

選挙区 鳥取市
会派 民主とっとり

①鳥大地域教員志望枠・奨学金②子どもの自死

問 鳥取大学は教育科学コースを創設し、地域教員希望枠が出来た。県内で教員を6年した場合、県独自に奨学金の半分を助成する。将来的に現在5人の定員枠を拡充する考えはないか。

答 教育人材確保は急務。効果を検証し、鳥大と相談しながら進める。

問 増加傾向の小中高校生の自死について対応を問う。

答 「鳥取SNS相談事業」開始。R6年「こども若者自死危機対応チーム」を設置し学校にも助言する体制を整備してきた。連携を一層深める。

安田 由毅 議員 

選挙区 境港市
会派 自由民主党

**①トリピーの活用
②境港の水産業**

問 ①トリピーの発信力を生かした郷土愛醸成の一層の推進を②境港の水産業の地域産業クラスター化による競争力強化を。また給水船廃業に伴う漁港機能低下への具体的対策など、県の主体的関与と戦略的支援を求める。

答 ①トリピーは若年層への発信に有効で2027年の30周年事業も検討する②境港の水産業は国の制度動向を踏まえクラスター化を検討する。給水船問題は事業承継の可能性を探りつつ、関係者と協議し代替設備整備も含め対応していく。

（※1）PFI事業…公共施設の設計、建設、維持管理、運営に民間の資金やノウハウ（技術・経営能力）を活用する手法。
（※2）自動運転バスのレベル4…特定条件下（道路、天候、時間帯、速度など）において、完全自動運転が行える水準。

 **入江 誠**
議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

**①燕趙園の利活用は
②広域観光連携を**

問 ①燕趙園は、中部地域の観光のシンボルでありランドマーク。年間を通して無料化し入園者数の増加を図り、燕趙園の魅力を発信し、つながる努力に徹してはどうか②鳥取・岡山県境議員連盟からのアートツーリズムの広域観光推進について両県知事に提言した。どう受け取ったか。

答 ①中部地域の観光経済にとって最も効果的であるか、今回の検証結果を含め、地元と一緒に検討したい②昨年10月の両県知事会の合意を踏まえ、引き続き両県で連携し、県境地域の振興につなげる。

 **銀杏 泰利**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

**市街化調整区域線引き
県営住宅水道料金徴収**

問 ①線引きで市街化調整区域の過疎化が進み、地域や住民に大きな不利益をもたらす。県として線引きをやめよ②県庁周辺駐車場の空き情報をSNS等で提供し相互利用せよ③県営住宅の水道料金滞納が続いた場合、棟ごと水道を止めることがないように。

答 ①鳥取市には開発許可の規制を緩和する条例が制定されていない。この議論を鳥取市に伝える②駐車場不足解消に大事な視点。鳥取市等と協議する③明渡し請求など行う。料金個別徴収を水道局に働きかける。

 **森 由美子**
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

健康寿命延伸と地域活力創出戦略

問 ①健康寿命延伸とアクティブシニア社会の実現、シニアバンクの現状と今後の活用強化は②温泉・サウナ等の地域資源の健康活用を③生涯スポーツによる健康と社会参加の推進を。

答 ①高齢者の活躍実態を踏まえ、シニアバンクの発信強化と活性化により社会参加を促進。アクティブシニア社会の機運醸成を図る②デジタルと温泉を組み合わせた事業を更に進める等、関係団体と連携して健康増進を図る③民間連携で生涯スポーツ環境を整備し、健康寿命延伸を図る。

 **前田 伸一**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

①対話文化醸成②ラッキョウ③山林火災

問 ①生成AIやSNSによる社会の分断が進んでいる。対話を通して人が認め合い学び合う社会を創るべき②将来を見据えDX投資によるラッキョウ加工の省力化を進めるべき③山林火災警報の周知と消火水源に溜池の活用拡大を。

答 ①民族や文化の分断を乗り越え、人間主義に基づき世界平和へ貢献する使命を再認識した②地域産業クラスターの発想も含め研究開発と普及応援する③林野火災警報の広報は地元紙を活用する。消火水源はヘリを出勤する自衛隊と意思疎通を行っている。

 **西村 弥子**
議員

選挙区 米子市
会派 無所属

多様な学び先進県高校改革／未来人材育成

問 フリースクール等義務教育の多様な学びの流れを受け、県立高校も通信・定時制強化や少人数制の活用、学校間連携、映像コンテンツ人材育成等、地域特性や産業資源の強みを生かす改変を求め。

答 (教育長) 新たな学校づくりの視点に全く同感。強み3倍を目指し、取り組みたい。

問 事業承継不足全国2位の本県は、地域の起業家や異分野産業と工業高校等、人材育成の産官学連携を部局横断で推進する体制を整備すべき。

答 政策統轄総局が各部局をまとめ教育委員会と連携する。

 **鳥羽 喜一**
議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

中部医療圏の維持について

問 新たな地域医療構想の策定において、東部・中部・西部の既存医療圏の維持が大切な論点だ。特に中部圏域は人口20万人基準に満たないが、地域の生活圈・経済圏とも一致している。医療は重要な生活基盤であることから、こうした実態と地域性を踏まえ、何としても中部医療圏を維持して頂きたい。

答 本県では医療圏ごとに保健所・医師会・消防などの行政区分が一致しており、東部・中部・西部の二次医療圏を前提として議論を始めるのが自然な流れと考えている。

 **玉木 裕一**
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**子育て支援1千万給付
納税6千万の種をまく**

問 経済不安払拭に1千万円の段階的給付を提案。当初の30億円は予算の1%だ。財政需要として十分捻出可能では。一人の生涯納税額は6千万円。将来への種まきこそ攻めの投資。既存手法で結果が出ない今、現金給付という新しい可能性へ挑戦し、行政の本気度で社会の意識を変えるべきだ。攻めの投資で未来を拓く決断を強く求める。

答 現物・サービス給付こそが子どもの将来に資する。将来的な300億円の確保は持続不可。サービス給付路線を堅持し、シン・子育て王国を推進。

 **中島 規夫**
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

自然環境を生かした経済活動／慰霊碑の管理

問 鳥取市日光地区では豊かな自然環境を経済活動に生かそうと取り組まれている。ネイチャーポジティブの理念に合致する取組ではないか。

答 本県でも自然環境を生かした経済活動が生まれており、日光地区でも展開を期待。今後もフォローしていく。

問 戦争遺児も既に81歳以上。慰霊碑の管理体制の確保が急がれる。全国知事会等で問題提起してもらいたい。

答 国に対応を要望していくほか、国が創設した新制度を市町村にも周知し、検討を急ぐよう促していく。

 **山川 智帆**
議員

選挙区 米子市
会派 無所属

**人口減少していく中、
地域交通をどう守る**

問 ①前議会で花回廊バスの一般利用と停留所の追加を検討してはとの質問に対し、関係者と話したいとの答弁を受け、地域の意見を取りまとめ担当課に伝えた。県としてどのように検討されるのか②花回廊の入園料は外国人が半額であり、地元の人に安く提供することが必要である。価格の見直しが必要ではないか。

答 ①今後もよく関係者の皆様と調整し、着実に議論していきたい②色んな要素を考慮すれば価格の再計算は可能であるので、指定管理者とも議論したい。

 **川部 洋**
議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

私立中学校の授業料無償化について

問 ①私立中学校の授業料無償化は、高校無償化とは政策目的が異なる。制度として実施するなら、その根拠を明確に示すべきではないか②私立中学校の授業料無償化によって、公立中学校にどのような影響があると認識しているか。

答 ①私立中学校の支援は中高一貫教育として一体で捉えるべきと考えている②(教育長) 山間地の中学校への影響について懸念の声があると認識している。

 **浜田 妙子**
議員

選挙区 米子市
会派 民主とっとり

**①米子水鳥公園②女性
専門外来③委託事業**

問 ①変化する公園の自然環境維持管理対策を国県市連携し取組み、子どもの学びの場として相応しい場所にと望む②女性専門外来強化と研修啓発をし、日本一のモデル県に③鳥大へ委託のロービジョン相談員非正規雇用の見直しを。

答 ①市が基本的責務を負うが自然共生サイトに指定され県が関わる可能性が出てきた。試験研究機関との研究ネットワークが張れると考え②地域医療構想の中で在り方も相談しモデルを目指したい③前回質問もあり精力的に話合っている。全力を尽くす。

 **福浜 隆宏**
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**①工賃UPへ治具
②アドボカシー(※)**

問 ①工福連携で治具開発が増えた一方、発信力が弱い。治具受注が増えるよう海外も視野に横展開を。同時に県の福祉部局だけでなく、産業関係部局も治具普及に関心を。②「子どもにも生まれながらに人権がある」とする権利条約に基づくアドボカシー理念を、教職員へもっと浸透を。

答 ①HP等を通じて発信力を高める。県外資本での治具導入も道半ば。推進を図る。②(教育長) 子どもの意見表明権の学校への浸透は途上。子どもの声を傾聴し安心して発言できる環境に留意する。

(※) アドボカシー…主に高齢者、障がい者、子どもなど、社会的に弱い立場にある人々の権利を擁護し、その意思やニーズを代弁して社会に伝える活動。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案）

ネット社会における偽・誤情報の対策経費、鳥取大学と連携した教員育成・確保の経費などを含めた「令和8年度鳥取県一般会計予算」など28議案を慎重に審査し、いずれも原案のとおり可決又は承認すべきものと決定した。

なお、当初予算の私立中学就学支援金の執行にあたり、応能負担の観点から、所得の上限・支給額を適切に見直すこと。更に制度の効果及び副作用を検証し、令和9年度に向けて制度全体を見直すとともに、県外生への支援のあり方や公立中学校への影響を踏まえた将来の教育体制の在り方の整理、国への制度化及び必要な財源措置を求める附帯意見を付すことを決定した。

福祉生活病院常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案、請願・陳情）

県・市町村が拠出する基金を活用して犯罪被害者へ支援を行う全国初となる「鳥取県犯罪被害者等に対する支援金の交付に関する条例」や、従業員の育児参加を促す休暇など企業の子育て支援環境整備への支援、性暴力から子どもを守る日本版DBS制度施行に伴う対策経費、介護職の魅力発信や外国人材受入れなど介護・障がい福祉人材の参入促進対策、医療・福祉・保育施設等の物価高騰対策支援等を含む「令和8年度鳥取県一般会計予算」のほか20議案について、いずれの議案も原案のとおり可決又は承認すべきものと決定した。

また、新たに提出された保育に関する陳情1件を審査し、趣旨採択すべきものと決定した。

農林水産商工常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案、請願）

商工分野では、国が掲げる「地域未来戦略」に呼応した地域産業クラスター形成を図り、地域経済の成長・発展を推進する事業や、県内企業が先進分野に挑戦する高付加価値型ものづくり産業を育成する事業など、農林水産分野では、新規就農者の確保を支援する事業や、ツキノワグマ等の総合対策などを含む議案第1号「令和8年度鳥取県一般会計予算」をはじめとする計22議案の審査を行い、いずれも原案どおり可決又は承認すべきものと決定した。

また、新規提出の「政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願」について審査し、不採択すべきものと決定した。

地域県土警察常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案、請願・陳情）

1月に発生した地震により被災した公共土木施設の災害復旧などの専決処分のほか、国内外からの観光誘客の推進、県立美術館のコレクション整備、10月に開催される「ぼうさいこくたい」を契機とした地域防災力の向上、来年のワールドマスターズゲームズに向けた開催準備等を含む「令和8年度鳥取県一般会計予算」など12議案について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情1件を不採択、継続審査中の陳情1件を研究留保とすべきものと決定した。

令和8年2月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
②	令和8年度鳥取県用品調達等集中管理事業特別会計予算	可決
③	令和8年度鳥取県公債管理特別会計予算	可決
④	令和8年度鳥取県給与集中管理特別会計予算	可決
⑥	令和8年度鳥取県母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決
⑦	令和8年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計予算	可決
⑧	令和8年度鳥取県就農支援資金貸付事業特別会計予算	可決
⑨	令和8年度鳥取県林業・木材産業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑩	令和8年度鳥取県県営林事業特別会計予算	可決
⑪	令和8年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計予算	可決
⑫	令和8年度鳥取県沿岸漁業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑬	令和8年度鳥取県港湾整備事業特別会計予算	可決
⑭	令和8年度鳥取県収入証紙特別会計予算	可決
⑮	令和8年度鳥取県県立学校農業実習特別会計予算	可決
⑯	令和8年度鳥取県英奨学事業特別会計予算	可決
⑰	令和8年度鳥取県電気事業会計予算	可決
⑳	令和8年度鳥取県営埋立事業会計予算	可決
㉑	令和8年度鳥取県営病院事業会計予算	可決
㉓	令和7年度鳥取県公債管理特別会計補正予算（第1号）	可決
㉔	令和7年度鳥取県給与集中管理特別会計補正予算（第2号）	可決
㉕	令和7年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉖	令和7年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉗	令和7年度鳥取県県営林事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉘	令和7年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉙	令和7年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算（第2号）	可決
㉚	令和7年度鳥取県英奨学事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉛	令和7年度鳥取県営工業用水道事業会計補正予算（第2号）	可決
㉜	令和7年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第3号）	可決
㉝	鳥取県犯罪被害者等に対する支援金の交付に関する条例	可決
㉞	鳥取県公益認定等審議会条例及び鳥取県附属機関条例の一部を改正する条例	可決

議案等番号	件名	議決結果
㉞	鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
㉟	鳥取県薬物の濫用の防止等に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊱	鳥取県食品衛生条例の一部を改正する条例	可決
㊲	鳥取県採石条例の一部を改正する条例	可決
㊳	貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊴	工事請負契約（鳥取県地域衛星通信ネットワーク等更新工事）の締結についての議決の一部変更について	可決
㊵	財産を減額して貸し付けること（鳥取バスターミナル用地）について	可決
㊶	財産を無償で貸し付けること（米子コンベンションセンター用地）について	可決
㊷	財産を無償で貸し付けること（鳥取県赤十字血液センター用地）について	可決
㊸	財産を無償で貸し付けること（放牧場用地及び施設）についての議決の一部変更について	可決
㊹	財産を無償で貸し付けること（元）鳥取大学整備事業用地）について	可決
㊺	財産を無償で貸し付けること（皆生養護学校敷地）について	可決
㊻	財産を無償で貸し付けること（鳥取県学生寮用地）について	可決
㊼	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
㊽	鳥取地区工業用水道における水質変化を原因とする製品被害に係る和解について	可決
㊾	権利の放棄（県営住宅家賃等）について	可決
㊿	権利の放棄（鳥取県英奨学資金貸付金返還金）について	可決
61	権利の放棄（病院事業診療費）について	可決
62	包括外部監査契約の締結について	可決
63	県道の路線の廃止（網代港大岩停車場線）について	可決
64	県営土地改良事業等の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について	可決
65	第2次鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画の策定について	可決
66	専決処分の承認について	承認
67	職員の確保に向けた多様で柔軟な働き方を推進するための関係条例の整備に関する条例	可決
68	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
71	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
73	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
75	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意
79	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意

令和8年2月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます →



自由民主党

入江 誠	河上 定弘	鳥羽 喜一	森 由美子	山本 暁子	島谷 龍司	鹿島 功
------	-------	-------	-------	-------	-------	------

議案等番号	件名	自由民主党							
①	令和8年度鳥取県一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
附帯意見	(議案第1号関係)	○	○	○	○	○	○	○	
⑤	令和8年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
⑰	令和8年度鳥取県天神川流域下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
⑲	令和8年度鳥取県営工業用水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	
⑳	令和7年度鳥取県一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	
㉓	鳥取県基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
㉗	鳥取県国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
㉘	鳥取県児童福祉施設に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
㉚	鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
㉛	鳥取県営土地改良事業分担金等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
㉜	財産を無償で譲渡すること(県営住宅土師百井団地)について	○	○	○	○	○	○	○	
㉝	財産を無償で譲渡すること(県営住宅米第1団地)について	○	○	○	○	○	○	○	
㉞	財産を無償で譲渡すること(県営住宅浜の上第1団地)について	○	○	○	○	○	○	○	
㉟	財産を無償で譲渡すること(県営住宅伯南第1団地及び伯南第2団地)について	○	○	○	○	○	○	○	
㊱	鳥取県職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
㊲	鳥取県行政組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
㊴	鳥取県税条例及び合衆国軍隊の構成員等の所有する自動車に対する自動車税の徴収の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
㊶	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	
㊷	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	
㊸	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	
㊹	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	
㊺	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	
㊻	職員の旅費等に関する条例及び鳥取県知事等の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
①	鳥取県議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
②	米国・イラン間の和平実現に向けて日本政府が停戦に向けた仲介者として主導的な外交を展開することを求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	
議案等番号	件名	委員長報告	自由民主党						
陳情7年-11	旧姓の通称使用の法制化を求める陳情	研究留保	○	○	○	○	○	○	○
陳情8年-1	非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
請願8年-2	政府に所得補償(直接支払い)制度の実現を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情8年-3	子どもの成長を保障し、保育士が働く喜びにあふれる保育の実現に向けた調査・検討の着手に関する陳情	趣旨採択(措置済)	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「欠」欠席。
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

特殊詐欺にご注意！

令和8年2月定例会の開会に先立ち、より身近で信頼される県議会を目指すとともに、昨年最多となった特殊詐欺被害の防止を目的として、警察音楽隊による啓発活動を本会議場で実施しました。まず、鳥取県民歌「わきあがる力」などの2曲が披露され、その後、警察官をかたるニセ警察詐欺やSNS型投資詐欺の手口・対策などが詳しく解説されました。



県民の皆様におかれましては、特殊詐欺の被害にあわないよう、日々の生活の中で、少しでも、『あれ、おかしいな、怪しいな、不安だな』と思われた際は、迷わず、警察総合相談電話#9110、または、最寄りの警察署までご相談ください。

なお、県議会はいつも皆様が開かれています。白熱の議論の傍聴に、お気軽にお越しください。

information 県議会からのお知らせ

6月定例会の日程案

期 日	日 程
6月 8日(月)	本 会 議(開会・提案理由説明)
9日(火)	常任委員会
10日(水)	本 会 議(代表質問)
12日(金)	本 会 議(一般質問・質疑)
15日(月)	
17日(水)	
18日(木)	
22日(月)	
23日(火)	常任委員会
25日(木)	
26日(金)	
29日(月)	本 会 議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

『とっとり県議会だより』について
ご意見をお聞かせください。
紙面づくりの参考にいたします。

議会中継

本会議はケーブルテレビで生中継しています。また本会議や委員会の生中継と録画放送は、インターネットで公開しています。表紙のQRコードからアクセスしてください。

県政に対する提案事項

県政に対する提案事項およびその対応状況については、財政課ホームページからご覧いただけます。

財政課
ホームページは
こちらから→

あ と が き

県議会だより56号をお届けします。
2月定例会は、令和8年度当初予算はじめ盛りだくさんの内容となっております。議会の動向や様々な取組の最新情報など、分かりやすく掲載しておりますので、ぜひチェックしてみてください！ (広報委員K)